

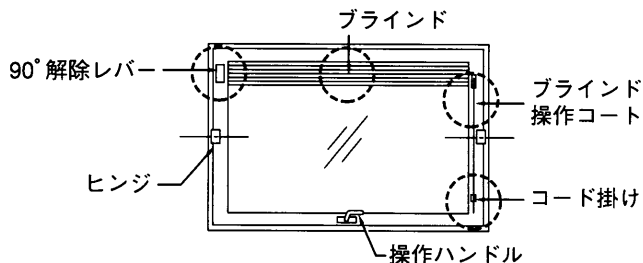
内蔵ブラインドの取扱い

大型横軸回転窓

■自然換気用小開閉、■排煙90°開閉、■清掃用165°反転の開閉、については、別紙の「大型横軸回転窓の取扱い」22-2 1/3、22-2 2/3、22-2 3/3、をご覧ください。

ブラインドの操作

ブラインドの操作コードを操作することによって、ブラインドの上げ下げ、羽根角度の調整ができます。



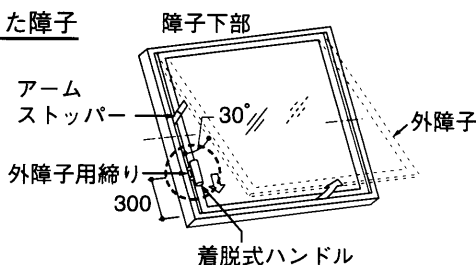
お願い

- ❶ 無理な操作はしないでください。
破損・故障につながる恐れがあります。
- ❷ 操作コードが重い場合は、無理に操作しないでください。
かみ込みやねじれなどがなければ確認してください。
- ❸ 操作コードが引けなくなった場合、それ以上無理に引かないでください。

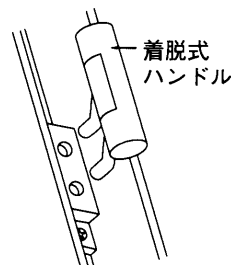
メンテナンス時の外障子の開閉

- ❶ ブラインドを上げた状態にしてください。
- ❷ 障子を165°反転させてください。
(反転操作は、大型横軸回転窓 ■清掃用165°反転の開閉 22-2 3/3 を参照してください。)
- ❸ 反転状態で下から300mmの位置にある外障子用締りに着脱式ハンドルを差込み、25mm程引いてください。
外障子のロックがはずれ、外障子が開けられる状態となります。
外障子を上げると約30°でアームストッパーが働き、外障子が固定されます。
- ❹ 閉めるときは外障子を少し持上げるとアームストッパーのロックがはずれます。
後の操作は、開けたときと逆の操作をおこなってください。

反転した障子



着脱式ハンドル



お願い

- ❶ 障子締りが施錠状態になっているか必ず確認してください。
- ❷ 外障子を最後に閉める時、指を障子に挟まないようにしてください。
- ❸ 外障子を開ける時、内障子が動かないようにしてください。
- ❹ 障子の反転時に、コードがからまないようにしてください。